

キーワード	地域ケア会議、ネットワーク構築
-------	-----------------

# 「高岡市中央地域ケア会議」を通じた地域包括ケア体制づくり

富山県 高岡市

**【この事例の特徴】**  
地域包括支援センターが抱える課題を洗い出して共通認識とし、「医療との連携」「困難事例への対応」「地域課題を踏まえたネットワークづくり」などの課題について、対応する体制を構築した。

## 地域概要

総人口:	177,551 人
65 歳以上人口:	51,068 人 (28.8%)
75 歳以上人口:	25,457 人 (14.3%)
要介護要介護認定者数:	8,878 人 (17.4%)
地域包括支援センター数:	10 ヲ所
第5期介護保険料:	5,310 円



## 背景・経緯

- 本市では、従来から、高齢者支援に関わる保健・医療・福祉等の関係機関の連携体制を構築するために、各年度、テーマを掲げ、関係者が集まり、課題や解決策を協議する会議を年 2～3 回開催してきた。
- 平成 23 年度当初、当会議のテーマを決めるために、地域の高齢者の総合相談窓口であり、地域の高齢者支援ネットワークづくりの拠点である地域包括支援センターが抱える活動の課題（特に他機関との連携における課題）について調査を実施した（\*高岡市は、委託型地域包括支援センターを市内 10 ヲ所に設置している）。
- 調査の結果、10 ヲ所の地域包括支援センターにおける他機関との連携に関する課題を以下のとおり把握した。
  - ◇ 医療との連携が不十分（特に認知症高齢者の早期発見や支援において）
  - ◇ 知的障害や精神障害を持つ高齢者やその家族、身寄りのない高齢者等の支援困難事例が増加しており、他機関との連携支援の必要性が高まっている
  - ◇ 地域包括支援センターにおいて地域の課題を踏まえたネットワークづくりが不十分
- これらの課題を共有し、対策を検討することを目的に平成 23 年度から「高岡市中央地域ケア会議」を開催してきた。

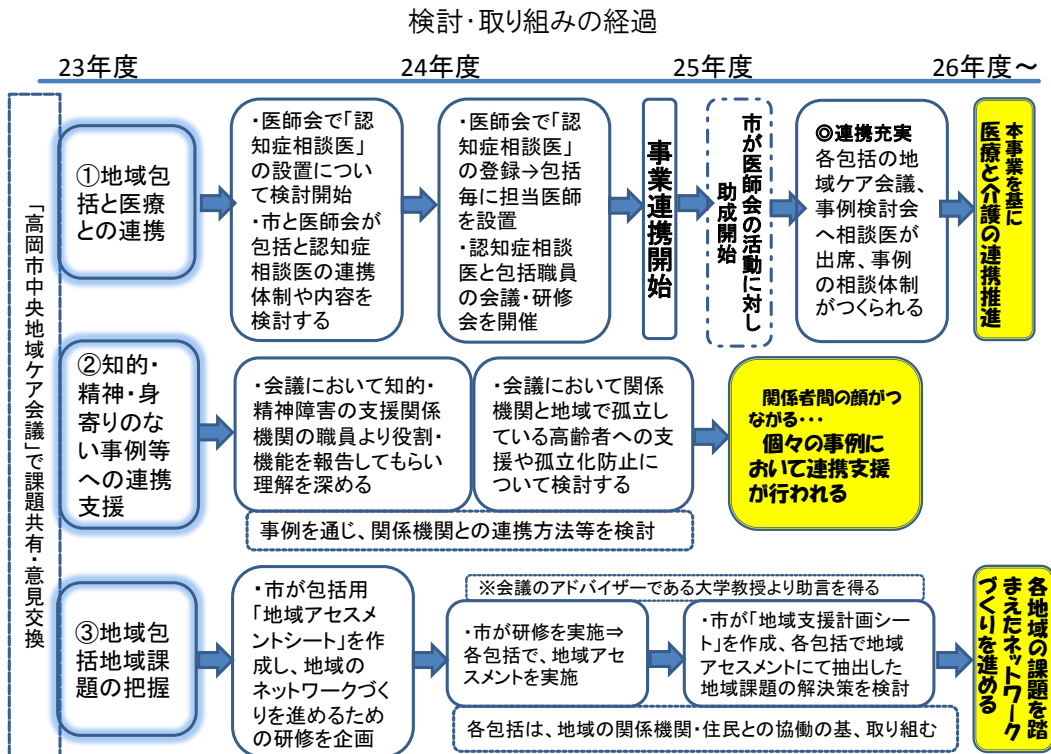
## 取り組み内容と方法

### 【高岡市中央地域ケア会議への参加機関】

- 市内 10 ヶ所地域包括支援センター
- 医師会
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援事業者
- 警察署
- 社会福祉協議会
- 民生委員協議会
- 厚生センター
- 市関係課職員
- 大学教授 (アドバイザー)
- その他、会議のテーマに応じ、関係機関職員が参加

### 【検討の経過】

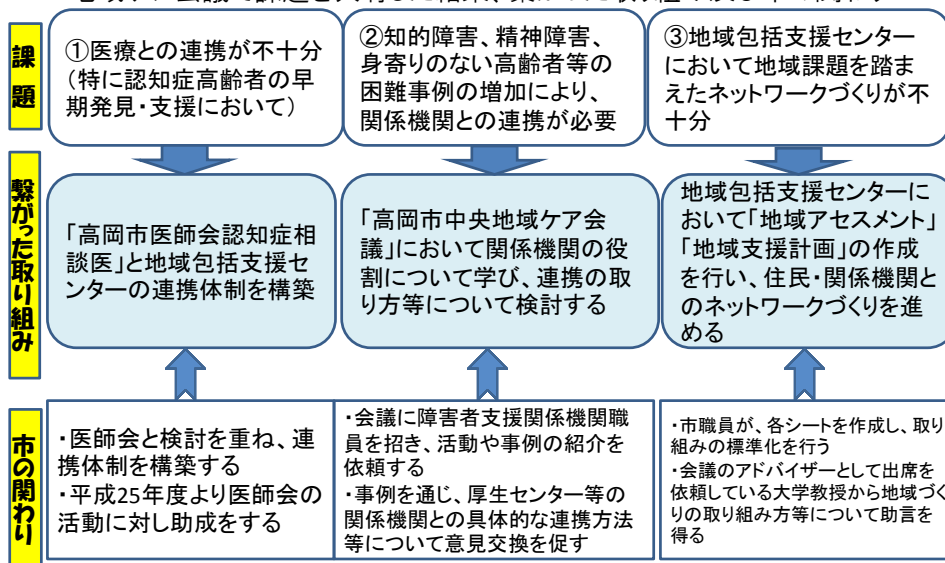
- 地域包括支援センターにおける他機関との連携に関する課題「①医療との連携が不十分」「②支援困難事例の増加と連携支援の必要性の強まり」「③地域包括支援センターにおける地域課題を踏まえたネットワーク構築」のそれぞれについて、検討し、取り組みを行った。



## 【会議の結果からつながった取り組み】

- 課題認識「①医療との連携が不十分」に対する取り組み
  - ◇ 高岡市医師会「認知症相談医」(地域の認知症相談窓口医師)と地域包括支援センターの事業連携体制を整備。
  - ◇ 平成 23 年度  
会議に参加していた高岡市医師会理事を担う医師が認知症相談医の設置に向けて医師会の中で検討を開始した。併せて認知症相談医と地域包括支援センターの事業連携内容・体制について医師会と市が検討した。
  - ◇ 平成 24 年度  
高岡市医師会において認知症相談医(登録医)を設置。地域包括支援センター圏域毎に担当する認知症相談医を配置し、認知症相談医と地域包括支援センターの事業連携がスタートする。地域包括支援センターからの相談事例に対し認知症相談医から助言が得られるようになるとともに、地域包括支援センターが開催する事例検討会等に認知症相談医の参加が得られるようになる。
  - ◇ 平成 25 年度  
市として、認知症相談医(医療)と地域包括支援センター(介護)が相互に連携する在宅支援体制の強化を図ることを目的とした事業を立ち上げ、医師会への活動費の助成を開始する。
- 課題認識「②支援困難事例の増加と連携支援の必要性の強まり」に対する取り組み
  - ◇ 中央地域ケア会議において知的障害、精神障害、身寄りのない高齢者への支援における課題を共有する。また、知的、精神障害の支援に関わる各機関の役割・機能を報告してもらい理解を深める。さらに、関係機関との連携の取り方等を検討し、具体的な連携方法について共有する。
  - ◇ 地域包括支援センター、厚生センター、障害者支援機関等の関係職員間の顔がつながり、個々の事例において連携支援が行われるようになってきている。
- 課題認識「③地域包括支援センターにおける地域課題を踏まえたネットワーク構築」に対する取り組み
  - ◇ 市内 10 ヶ所地域包括支援センターの担当地域の課題を把握するために地域資源の把握、データの整理を行う「地域アセスメント」の実施、及び地域課題の解決に向けて取り組みを進めるための「地域支援計画」の作成について市が支援する。
  - ◇ 平成 24 年度  
市保健師が地域包括支援センター用「地域アセスメントシート」を作成し、アセスメントの手順について研修を行う。各地域包括支援センターで地域アセスメントを行い、地域の課題を抽出し、住民と共有を図る。
  - ◇ 平成 25 年度  
各地域包括支援センターで抽出した課題を解決するために、市が「地域支援計画シート」を作成し、計画の立案、解決策の取り組みを関係機関や住民と協働で進めていくための研修を行い、各地域包括支援センターで取り組みが進められる。

地域ケア会議で課題を共有した結果、繋がった取り組み及び市の関わり



## 取り組みの成果と課題

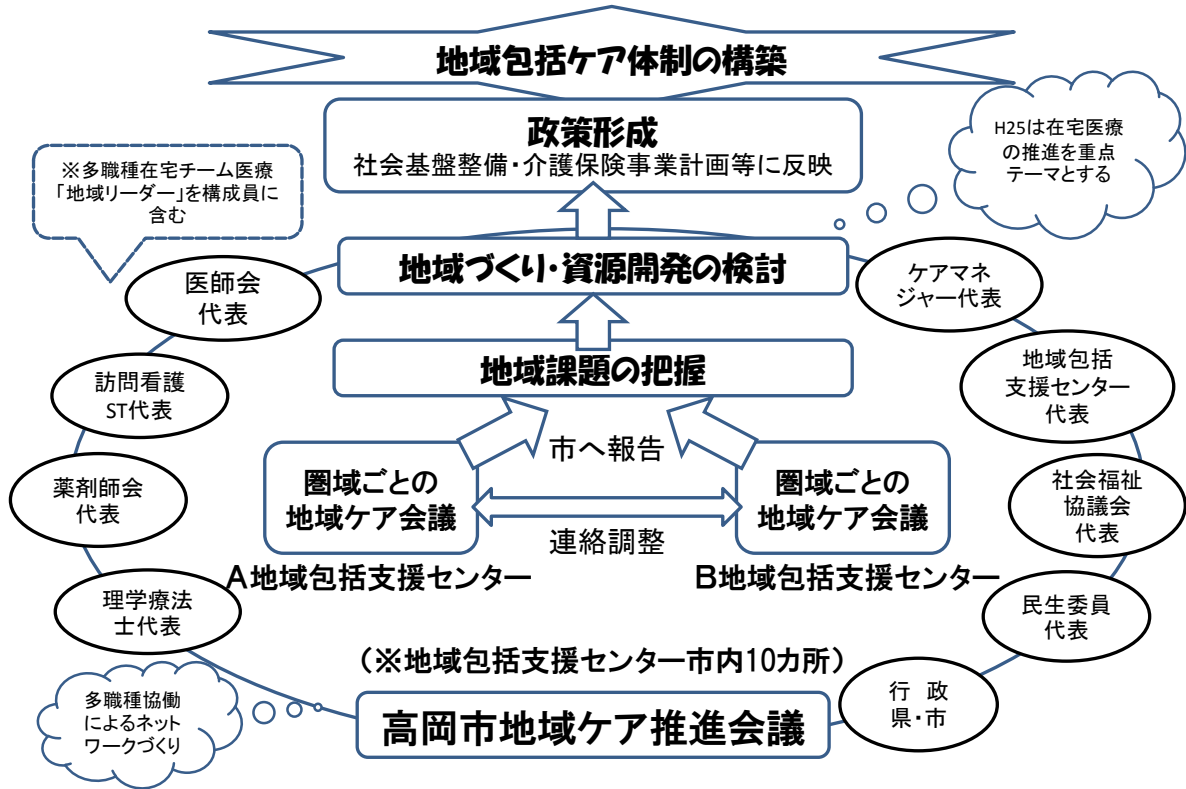
### 【成果】

- 地域包括支援センターが抱える課題を会議で共有することにより、関係機関に地域包括支援センターの役割・機能を周知することができた。
- 会議を通じて、関係者間の顔がつながり、相互に連絡がとりやすくなったり、個別事例への支援においてスムーズに多機関で関わるできるようになった。
- 会議において、課題の共有や対策の検討を行うのみにとどまらず、課題解決に向けた実際の取り組みを関係機関と連携し積極的に進めた。会議では、各取り組みの進捗状況を報告し、関係者に周知した。
- 地域包括支援センターにおける「地域ケア会議」と市が開催する「高岡市中央地域ケア会議」の各々の役割及び、これらの会議開催を通じた地域包括ケア体制構築の流れを整理することができた。

### 【今後の取り組み】

- 平成 25 年度から、「高岡市中央地域ケア会議」から「高岡市地域ケア推進会議」へと発展した。
- これは、平成 25 年度から、市内 10 ヶ所地域包括支援センターにおいて多職種協働による「地域ケア会議（個別事例会議）」を開催し、個別事例の検討を通じて、支援ネットワークの構築、地域課題の把握等を行っている。各地域包括支援センターの「地域ケア会議」で把握される地域課題を市が集約し、広域的な課題解決に向けた協議の場として「高岡市中央地域ケア会議」の機能を充実させ、名称を「高岡市地域ケア推進会議」に変更し開催している。
- 平成 25 年度は、当会議の重点テーマとして、医療と介護の連携推進を掲げ、各関係機関の役割・機能の共有、課題解決に向けた協議を行っている。

地域課題の把握～地域包括ケア体制構築へ…(平成 25 年度以降の体制)



参考 URL、連絡先

- 高岡市 保健福祉部 介護保険課 介護予防・地域ケア推進担当  
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/joho/shise/gaiyo/soshiki/fukushihoken/kaigo.html>  
 0766-20-1165